

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市井田学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町字後田19番地7
施設規模	敷地面積：2025.11㎡ 建物面積：499.25㎡
指定管理者	名称：岡崎市井田学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町字後田19番地7 代表者：委員長 水野 武季
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ペットボトルロケット飛行大会		
実施内容	ペットボトルロケット作成 A O I フライングクラブ協力 小学校グラウンドにて飛行大会 計測 表彰・景品		
実施回数	1回		
参加人数(人)	50人	(こども：20人、おとな：30人)	

(2) 事業実施に対する自己評価

こどもと大人のふれあいを通じて、世代を超えた地域の繋がりを生むきっかけとなった。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	357	25388	549	5204	30592

(2) 利用状況に対する自己評価

安全なこどもの遊び場として、現場の指導員と連携を密にして本年度も多くの児童が来館した。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入		409,000
	その他収入	前年度剰余金	26795
収入 計			435795
支 出	直接管理運営費	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	432069
	(うち修繕費)	※精算項目	117260
	その他	当期剰余金等	3726
支出 計			435795
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

急を要する建具の修繕が必要となり、本年度は修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用ができるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用団体との会議を開催して、苦情対応を行った。

今後も各団体と直接連絡をとりあい、苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市城南学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市城南町一丁目5番地1
施設規模	敷地面積：1921.47㎡ 建物面積：499.8㎡
指定管理者	名称：岡崎市城南学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市城南町一丁目5番地1 代表者：委員長 内笹井 忠男
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	なし
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

（ ） 工口禍でふれあひ事業としては実施せず。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	354	12549	398	4633	17182

(2) 利用状況に対する自己評価

（ ） 放課後こども教室として、指導員間で話し合い、簡単な工作をするなどした。それと目的として来館する子どもが増え、本年度も多くの児童が来館し、又その弟妹である未就学児も保護者とともに来館し、認知度が高まった。大人利用については、地域に広く認知されており、多くの学区住民による利用があった。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000 /
	その他収入(B)	雑収入 昨年度	48,307 /
収入 計 (A + B)			453,307 /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	411,771 /
	(うち修繕費)	※精算項目	210,149 /
	その他(D)	当期剰余金等	41,536 /
支出 計 (C + D)			453,307 /
差 引			0 /

(2) 収支状況に対する自己評価

- 施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。
- 支出内容を精査することにより、均衡を図った。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 利用者が長く快適に利用できるより、清潔な環境づくりに努めた。
- 利用者にも協力をお願いし、清掃等常時できた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- 利用代表者会議を開催し、ニーズ把握を心掛けた。
- こどもに人気のある遊具やコミックを開き取り、玩具の修理や文具を購入した。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- 連絡帳を活用して対応が速やかにできるより努めた。
- マナー、ルールを守っていたことを利用にもつらう事であった。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市広幡学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市広幡町11番地13
施設規模	敷地面積：617.82㎡ 建物面積：499.09㎡
指定管理者	名称：岡崎市広幡学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市広幡町11番地13 代表者：委員長 河口 等
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	318	8,905	391	3,498	12,403

(2) 利用状況に対する自己評価

昨年度に引き続き新型コロナウイルス流行により大人利用は、長期間利用を中止する団体も数多くあった。児童の方も昨年よりは増えつつあるがまだコロナ前には戻っていない状況である。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 /
	その他収入(B)	雑収入 令和3年度繰越金	13,446 /
収入 計 (A + B)			419,446 /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	395,484 /
	(うち修繕費)	※精算項目	123,158 /
	その他(D)	当期剰余金等	23,962 /
支出 計 (C + D)			419,446 /
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

経年劣化した大型掃除機、玄関マット、電気ストーブを修繕費で購入していた
ところが年度末に洋式トイレ改修工事に伴って不具合が生じたので修繕費が超過して
しました。超過分は他の支出内容を精査して収支のバランスを図った。又、年度ごとの
買い換えと予定している為次年度繰越金と多く残した。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・昨年同様館内全床の拭き掃除や遊具の消毒を毎日実施し清潔な環境
づくりに努めた。
・施設利用の緊急時に備えてシール等で表示(住所、AED設置)した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・廃材を利用しての遊具ととも達と製作したりして多種多様な遊具でコミュニ
ケーションを深めると共に安全に遊べる様整備に努めた。
・利用団体とのノート、ホワイトボードの活用、電話連絡等によりニーズ把握と心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・特別な苦情はなかったが、会議やノートにより利用者とのコミュニケーションを
密にして今後も苦情のないよう適正な管理運営と心掛けた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市上地学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市上地三丁目 32 番地 2
施設規模	敷地面積：1628.79 m ² 建物面積：499.62 m ²
指定管理者	名称：岡崎市上地学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市上地三丁目 32 番地 2 代表者：委員長 杉浦 正司
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	340	10,965	399	3,643	14,608

(2) 利用状況に対する自己評価

子供たちが安全にのびのびと遊べる場所として、現場の指導員と小学校と連携し、指導員同士が共通意識を持ち、改善すべき点を改善実施できた事により子供たちを安全に遊ばせる事が出来た。大人の利用者にも、周知してもらい消毒、清掃に協力してもらう事が出来た。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		407,000 /
	その他収入(B)	雑収入	0 /
収入 計 (A + B)			407,000 /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	407,000 /
	(うち修繕費)	※精算項目	82,742 /
	その他(D)	当期剰余金等	0
支出 計 (C + D)			407,000 /
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

修理改善を必要とする状況が発生し、本年度は修繕費が超過したが、他の支出内容を精査することにより、収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境作りに努めた。
施設利用に関して、決まりを決めて、書面を作成。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

人気のおもちゃや図書について、こどもに聞きとりをし、それらを参考に、購入し、充実を図った。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用団体ノートに記された意見について、改善できる範囲において速やかに対応した。
マナールール違反の利用者には、事務長を通して、注意をし、理解して頂いた。
特別な苦情はなかったが、ノートにより、利用者とのコミュニケーションを図り、今後も適切な管理・運営を心掛けた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市本宿学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市本宿町字下三本松5番地1
施設規模	敷地面積：1164㎡ 建物面積：499.56㎡
指定管理者	名称：岡崎市本宿学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市本宿町字下三本松5番地1 代表者：委員長 中嶋 隆則
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあいレクリエーション バルーンで遊ぼう
実施内容	外部講師の指導により風船を使った遊び ・グループに分かれ対抗レース ・大きなオブジェの製作
実施回数	1回
参加人数(人)	69人(子ども：60人、おとな：9人)

(2) 事業実施に対する自己評価

参加者全員がふれあいのレクリエーションを通して仲良しな時間を過ごした。
また楽しい時間を過ごした。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	330	10,129	324	2,643	12,772

(2) 利用状況に対する自己評価

・安全なこどもの遊び場として、小学校と連携を密に作り、本年度も多くの児童が来館した。
・大人の利用についても、地域に広く認知されており、本年度も約503.3学区住民により利用があった。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		404,000
	その他収入(B)	雑収入	0
収入 計 (A + B)			404,000
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	401,871
	(うち修繕費)	※精算項目	93,350
	その他(D)	当期剰余金等	2,129
支出 計 (C + D)			404,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう「来日時よりも美しく」を合言葉に使用後の清掃への協力を呼びかけて、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・子どもに人気の遊具を聞き取りに購入したり、遊具の整備に努めた。
・利用団体より聞き取りし、ニーズの把握を心がけた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・指導員と連携し、利用者1対1に記入された意見には改善できず範囲において速やかに対応した。
・利用団体からの連絡を1対1で対応し、速やかに対応した。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市梅園学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市稲熊町四丁目12番地1
施設規模	敷地面積：1440.25㎡ 建物面積：499.11㎡
指定管理者	名称：岡崎市梅園学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市稲熊町四丁目12番地1 代表者：委員長 渡邊 喜則
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人(こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ禍の為、開催中止

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	353	19,299	393	4,335	23,634

(2) 利用状況に対する自己評価

・安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校、学区民生児童委員との連携を密にしたことで本年度も多くの児童が来館し、細やかな見守りができた。
・大人の利用については本年度も多くの学区民の利用があった。

5.3.21

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		408,000
	その他収入(B)	雑収入	37517
収入 計 (A + B)			445517
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	416,907
	(うち修繕費)	※精算項目	109,389
	その他(D)	当期剰余金等	28,610
支出 計 (C + D)			445517
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。
 ・防犯対策を兼ね、玄関に人感センサー付LEDライトを設置するなどして、環境整備に修繕費用を充てた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用団体、運営委員会、地域団体が協力し、合同で館内外の清掃に取り組む。清潔な環境づくりに努めた。
 ・施設利用に関する情報を立看板を利用して、わかりやすく伝える工夫をした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

子どもに聞き取り調査をしたり、他館やメリアなどから情報を得て、遊具を購入し遊ばせ場としての充実を心掛けた。
 ・利用団体と定例清掃時に意見交換したり、メモ帳を常備して、ニーズ把握を密に心がけた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員と連携し、利用団体からの意見には改善できる範囲において速やかに対応した。
 ・マナー・ルール違反の利用者には掲示板を利用したり、直接注意を行い、理解していただいた。
 ・特別な苦情はなかったが、定例清掃時など利用者とのコミュニケーションを密にして今後も苦情のないように適正な管理運営を心掛けた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜谷学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市桑谷町字一斗目3番地4
施設規模	敷地面積：2894.36㎡ 建物面積：499.18㎡
指定管理者	名称：岡崎市竜谷学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市桑谷町字一斗目3番地4 代表者：委員長 太田 道雄
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	みんなで大掃除
実施内容	子ども会の子供と保護者、利用団体メンバーで協力してふれあいながら大掃除をする。 館内…レク室、レク室倉庫、トイレ、玄関フロア 館外…溝さらい、外灯カバー洗い、クモの巣除去、草取り、落葉片付け
実施回数	1回
参加人数(人)	66人(子ども：33人、おとな：33人)

(2) 事業実施に対する自己評価

子供も大人も積極的に大掃除に参加し、予定どおり実施することができた。中でも倉庫の掃除は3年ぶりということもあり、汚れがひどく大変だったが、道具をすべて運び出しまれいに雑巾がけをした。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	325	3,807	259	1,667	5,474

(2) 利用状況に対する自己評価

安全な子供の遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にし、本年度は多くの児童が来館した。大人の利用については、地域に広く認知されており、学区住民にも多く利用された。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		402,000
	その他収入(B)	雑収入	17,332
収入 計 (A + B)			419,332
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	399,158
	(うち修繕費)	※精算項目	86,044
	その他(D)	当期剰余金等	20,174
支出 計 (C + D)			419,332
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等を計画的に適切な使途で収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が安心して利用できるよう、日々の清掃や消毒をきちんと実施し、清潔な環境づくりに努めた。

施設利用について分かりやすく書面を作成、掲示し理解を得ることができました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者からの要望に対し、連絡ノートを活用し素早い対応ができた。

子供からの要望に耳を傾け、子供が楽しく利用できるよう、遊ぶ時間や場所の工夫に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員と連携し、利用者ノートに記入された意見にはきちんと対応することができた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作北学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市森越町字山王 45 番地 1
施設規模	敷地面積：1196 m ² 建物面積：499.53 m ²
指定管理者	名称：岡崎市矢作北学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市森越町字山王 45 番地 1 代表者：委員長 鈴木 宏
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

今年度は、10月のため実施せず

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	546	13,797	454	2,795	17,592

(2) 利用状況に対する自己評価

10月以降、一般児童の利用は少子化のため、三学期に入ってから徐々に増え始めた。逆に小学生以下児童は、三学期に入ってから減った様に思う。

5/3/31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 /
	その他収入(B)	雑収入 前年度繰越金 社会福祉金	755 / 20,000
収入 計 (A + B)			426,755 /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	424,937 /
	(うち修繕費)	※精算項目	(88,529)
	その他(D)	当期剰余金等	1,818 /
支出 計 (C + D)			426,755 /
差 引			0 /

(2) 収支状況に対する自己評価

17号室東側の壁に8メートル程度亀裂が入っておりかみテープを貼っていたが
アクリル板を張り、見た目も綺麗になり良かった。
管理費は、子どもが楽しめる物をミックス玩具、本、ビデオ、豊富に購入
できていると思う。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

コロナの感染対策として、利用団体の方、子ども達も安心安全に利用
できる様に、消毒や清掃に努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者の方達が要望や意見などを記入できるシートを用意し、ニーズの
把握に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

小学校との連携を密にし、かみ下校については万全の対策をとり
かみ下校を利用する保護者には、一対一で説明をしている。
保護者の方には、コミュニケーションを取る様にしている。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市男川学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大平町字皿田6番地2
施設規模	敷地面積：1051.69㎡ 建物面積：499.74㎡
指定管理者	名称：岡崎市男川学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市大平町字皿田6番地2 代表者：委員長 小林 勇
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	中止
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ感染拡大の為中止しました。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	359	20,274	359	22,841	43,115

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・指導員先生や地域住民と連携を密にして今年度も多くの児童が来館して、
- ・利用団体及より2回感染者が出た。その都度運営委員全員で消毒にあたり、

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		407,000 - /
	その他収入(B)	雑収入	0 - /
収入 計 (A + B)			407,000 - /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	365,986 - /
	(うち修繕費)	※精算項目	106,066 - /
	その他(D)	当期剰余金等	41,214 - /
支出 計 (C + D)			407,000 - /
差 引			0 - /

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後は必ず清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・工夫して自作したりするなど、多種多様な遊具の整備に努めた。
・利用団体との会議を開き、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・マナールール違反の利用者にその場で注意を行い、理解LTIMEET。
・利用団体との会議を開き、苦情対応を行った。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市六名学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市上六名三丁目3番地7
施設規模	敷地面積：885.61 m ² 建物面積：499.1 m ²
指定管理者	名称：岡崎市六名学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市上六名三丁目3番地7 代表者：委員長 伊藤 公一
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	六名ファミリーフェス (ふれあい事業)
実施内容	こどもの家 - ふれあい作り (飛びして距離を競う) シャトルキホルターの作り方を説明してセットレ物をお土産とした。 小学校 - クオリティドットビー・モルック・グラフィコルフ・じゃんけん大会
実施回数	1回
参加人数 (人)	87人 (こども：70人、おとな：17人)

(2) 事業実施に対する自己評価

六名小学校の社教及びPTAの方達と協力し合い行なったが、コロナの影響なのか参加人数の減少が目立った。
R5年度のふれあい事業は以前の様に賑やかに行なえると良いと思います。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合計	309	16,276	376	2,888	19,164

(2) 利用状況に対する自己評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止を念頭に、こどもの家指導員及び育成センター支援員及び小学校との連携をより強化した結果、多くの来館者に楽しく安全に利用してもらう事ができた。 5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 ✓
	その他収入(B)	雑収入	5,407 ✓
収入 計 (A + B)			411,407 ✓
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	403,482 ✓
	(うち修繕費)	※精算項目	93,461 ✓
	その他(D)	当期剰余金等	7,925 ✓
支出 計 (C + D)			411,407 ✓
差 引			0 ✓

(2) 収支状況に対する自己評価

安全性を最優先とし、施設の修理、遊具や消耗品の購入等適切に費用を充て、計画通り収支運営をする事ができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

安全かつ心地良く利用して頂く事を心掛け、スケジュールをホワイトボードに明記したり、連絡帳を使い連携を図った。
施設内外の清掃・消毒・草取りなど常に清潔に保つ事ができた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

学区回らん版を利用し、新規利用団体の受け入れをした。
会議や「利用団体帳」を使いニーズを把握し、すみやかに対応した。
人気のおもちゃを購入したり、流行りのぬり絵などを聞き準備した。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

放課後ことも教室は季節に合った作品にチャレンジした。
特に苦情はなかったが、利用団体代表者会議を開催し、利用についての質問等、利用者からの直の声を聞き指導員と共に早期解決に努める事ができた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市竜美丘学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市竜美東一丁目10番地1
施設の規模	敷地面積:1616.94㎡ 建物面積:499.4㎡
指定管理者	名称 岡崎市竜美丘学区こどもの家運営委員会 所在地 岡崎市竜美東一丁目10番地1 代表者 委員長 山田 昌生
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1 事業の実施状況

(1)実施状況

実施事業名	コロナ感染防止のため中止
実施内容	
実施回数	
参加人員(人)	

(2)事業実施に対する自己評価

- コロナ感染防止のため、学区諸団体とのふれあいができず、残念なことであった。

2 施設の利用状況

(1)利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	337	14,513	317	3,089	17,602

(2)利用状況に対する自己評価

- 安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで本年度も多くの児童が来館した。
- 大人の利用については、コロナ感染防止をよく理解協力していただき自粛遵守していただいた。

5. 3. 31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000
	その他収入(B)	雑収入	27,449
収入 計 (A + B)			433,449
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	391,144
	(うち修繕費)	※精算項目	(112,302)
	その他(D)	当期剰余金等	42,305
支出 計 (C + D)			433,449
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

備品の修理交換、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃を周知し、清潔な環境づくりに努めました。

施設利用に関し、利用条件を記した書面を配布、周知いたしました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

子供に人気の書籍や遊具を聞き取りして購入する、工夫して自作するなど、多種多様な遊具の整備に努めた。

利用団体の要望を聞き、ニーズ把握を心がけました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員と連携し、利用者の意見には改善できる範囲で速やかに対応しました。

マナー、ルール違反の利用者には即時注意警告をし、理解していただきました。

近隣への騒音対策として今年度も夜間利用を10月～3月にせいげんしました。

制理

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市生平学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市生平町字鷺場 38 番地
施設規模	敷地面積：1379.33 m ² 建物面積：499.6 m ²
指定管理者	名称：岡崎市生平学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市生平町字鷺場 38 番地 代表者：委員長 杉木 陽介
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	レクリエーション大会 (コロナの影響中止)
実施内容	12月10日(土) 10:15～11:45 新聞紙を使ったゲーム4種を計画していましたが実施できず。
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

[]

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計					

(2) 利用状況に対する自己評価

「緊急事態宣言」や「まん延防止措置」等の発出もなく、団体利用については例年の利用状況にほぼ等しい。

児童数は減少しづるものの、かばん下校や長期休業中の利用については横ばい状態であった。

5.3/31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		402,000
	その他収入(B)	雑収入	3,968
収入 計 (A + B)			405,968
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	353,195
	(うち修繕費)	※精算項目	101,799
	その他(D)	当期剰余金等	52,773
支出 計 (C + D)			405,968
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

館の老朽化による修繕はなかったものの、新しい備品や設備の充実に向けた有効な使い方ができたものとする。(一輪車練習用椅子、ロッカー、プリンター)

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるように「利用団体清掃」については別途日程を設けず利用時間の中で行っていたように改善した。
「こども会清掃」については、本年度は親子でふれあいながら実施することができてよかった。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

こども人気の遊具を新たに購入したり、絵本コーナーの充実に向けて、絵本も多岐にわたる内容で整えることができ、子どもたちにも好評であった。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員が情報共有や話し合いを通じて、どの利用者さんも気持ちよく利用できるように努めた。

今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作西学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市宇頭町字才六1番地5
施設規模	敷地面積：915 m ² 建物面積：499.4 m ²
指定管理者	名称：岡崎市矢作西学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市宇頭町字才六1番地5 代表者：委員長 杉浦 賢一
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ禍により、ふれあい事業は中止。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合 計	349	6,286	488	4,539	10,825

(2) 利用状況に対する自己評価

- 安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで、本年度も多くの児童が来館した。
- 大人の利用については、地域に広く認知されており、本年度も多くの学区市民による利用があった。

5.3.21

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	雑収入	3,282
収入 計 (A + B)			408,282
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	360,968
	(うち修繕費)	※精算項目	(143,740)
	その他(D)	当期剰余金等	47,314
支出 計 (C + D)			408,282
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用后および適宜な時期に清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
- ・施設利用に関して、わかりやすく記した案内板を作成した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・こどもに人気の遊具を聞き取りして購入したり、工夫して自作したりするなど、多種多様な遊具の整備に努めた。
- ・利用者ノートを活用して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・指導員と連携し、利用者ノートに記入された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美中部学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市下青野町字法京 54 番地
施設規模	敷地面積：1996 m ² 建物面積：499.2 m ²
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美中部学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市下青野町字法京 54 番地 代表者：委員長 太田 紀彦
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	コロナの為、開催無し
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

なし

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	348	3,601	535	4,159	7,760

(2) 利用状況に対する自己評価

昨年と比べ、コロナの影響も今年も続いていいる為か、あまり利用者が増えてはいない様子。令和5年度はマジックショー等、イベントも開催するので、地域の皆さんに楽しめる場所にしていきたい。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		404,000
	その他収入(B)	雑収入	25,326
収入 計 (A + B)			429,326
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	415,846
	(うち修繕費)	※精算項目	138,525
	その他(D)	当期剰余金等	113,480
支出 計 (C + D)			429,326
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・ 全てにおいて、有意義に収支決算出来ました。
- ・ 外周りの照明、玄関内 (後付灯) の照明等、夜の対応も考えました。
- ・ 除草シート、また必要な箇所はありますが、次年度の対応を考えます。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 利用団体さんは非常に良く協力して下さいます。令和4年から月1回~2回
順番にこどもの家館内、館外を清掃していたたぐことになり、不平
も言わず、しっかりと丁寧にもれいにて、てくれています。
利用器具の扱い方もきちんとされて気持ちいいです。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- 今年度は、特に非定期利用はありませんでした。
- 申請の申し込み等の遅れは有りましたが、都合がく限り優しく
対応しました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- 玄関受付の所にメモ用紙を置いて対応しています。
- 苦情は 1件もありませんでした。
- これからのこどもの家が利用者にとって、安全で気持ち良く使える
場所となる様健全育成に努めていきます。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市六ツ美北部学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市井内町字風見 54 番地
施設規模	敷地面積：1982 m ² 建物面積：499.88 m ²
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美北部学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市井内町字風見 54 番地 代表者：委員長 猪子 正勝
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあい事業
実施内容	コロナ感染防止対策で実施せず。
実施回数	0 回
参加人数 (人)	0 人 (こども： 0 人、おとな： 0 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

()

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合計	346	16,937	322	3,272	20,209

(2) 利用状況に対する自己評価

安全なこどもの遊び場として、指導員、育成センターの指導員、小学校との連携をとり、活動をすすめた。小人の利用人数は、昨年よりも増えた。大人の団体利用の人数も増えている。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		407,000 -
	その他収入(B)	雑収入	1,587 =
収入 計 (A + B)			408,587 ✓
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	402,252 ✓
	(うち修繕費)	※精算項目	143,171 -
	その他(D)	当期剰余金等	6,335 ✓
支出 計 (C + D)			408,587 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・施設の修理、消耗品の購入に適切に費用を充て、収支運営することができた。子どもの遊具も購入した。
- ・ふれあい事業費は、コロナ対策の材料費に使用した。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・コロナ感染対策が適切に実施されるようお願いを出して進めた。
- ・大人の利用団体の一斉清掃は、1回実施することができた。
- ・2月に利用団体の代表者会議を開き、要望を伝え、利用者の意見を聞いた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・子どもが活用できる遊具の購入計画を立て、多様な遊具の整備に努めた。
- ・利用団体との連絡は、利用者ノートと新たにラインを活用することにした。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・トイレ清掃を当番を決めて実施するようお願いをした。
- ・利用団体の使用マナーや使用後の清掃について、ラインを使ってお願いをした。
- ・ルールを守った利用をするように、話し合いの場をもった。
- ・トイレの洋式化、男用便座が実現でき、とてもよかった。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市岡崎学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市針崎町字大坪 10 番地 7
施設規模	敷地面積：1396.17 m ² 建物面積：499.6 m ²
指定管理者	名称：岡崎市岡崎学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市針崎町字大坪 10 番地 7 代表者：委員長 加藤 政幸
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	実施せぬ
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

()

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+ (B)
			回数	人数(B)	
合計	347	12,136	377	3,654	15,790

(2) 利用状況に対する自己評価

大人の利用について、地域のみに広く認知されており、
本年度も多くの学区住民の利用があり、

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 ✓
	その他収入(B)	雑収入	28,000 ✓
収入 計 (A + B)			434,000
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	430,131 ✓
	(うち修繕費)	※精算項目	87,790 ✓
	その他(D)	当期剰余金等	3,869 ✓
支出 計 (C + D)			434,000 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修繕、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営するべく努めた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者みんなが気持ちよく利用できるように、使用後の清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・利用団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・指導員と連携し、利用者ノートに記入された意見には、改善できる範囲において速やかに対応した。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市連尺学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市城北町4番地1
施設規模	敷地面積：713.43㎡ 建物面積：499.3㎡
指定管理者	名称：岡崎市連尺学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市城北町4番地1 代表者：委員長 辻村 信治
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	9/4(日)にこども会と共同で連尺子おひを開催の予定だったが コロナ感染拡大の時期だったため、中止とした。
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

実施直前での中止決定であったので残念であったが、もろもろの準備はできていたので
来年度の実施に活かしていきたい。
実施に際して、子ども会の方とよく情報共有して準備をすすめてきたので、意義のある
一年であった。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	348	13476	360	4099	17575

(2) 利用状況に対する自己評価

大きな問題、けがもなく、一年間無事に終了することができた。
看台モニター、小学校との連携を密にし、安全で楽しい遊び場にする所、IVRを行った。
コロナウイルス対策のため、感染者急増の時は図書室の人数制限をした。

5. 3. 31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 /
	その他収入(B)	雑収入	186,333 /
収入 計 (A + B)			424,633 /
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	363,771 /
	(うち修繕費)	※精算項目	98,490 /
	その他(D)	当期剰余金等	60,862 /
支出 計 (C + D)			424,633 /
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入は ほぼ適切に充てることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく施設を利用できるよう、利用後の片付け、清掃の協力の
お願いを掲示し、さらに11月に実施した大そうじの際に呼びかけをした。
玄関カウンターに連絡シートを置き、利用者と常時連絡ができるようにした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

子供達が安全に楽しめるよう、常に遊具の不具合をチェックし、整備に努めた。
人数が多い時は 場所や時間の交替を指示し、事故の防止に心がけ
安全に遊べるよう見守りをした。多休意をもって参りたいとの声になるよう、ルールを決め声をかけた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員全員が共通の認識をもって対応できるよう、ノート等を利用して、情報交換をし
対策を心がけた。
育成課への連絡、相談を早急にするよう心がけた。
苦情があった際は今後の真摯に対応していきたい。

令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市山中学区こどもの家
施設の設置目的・役割	学区内におけるこどもの健全育成と学区民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市山綱町字天神2番地1
施設規模	敷地面積: 1695, 70㎡ 建物面積: 519, 16㎡
指定管理者	名称: 岡崎市山中学区こどもの家運営委員会 所在地: 岡崎市山綱町字天神2番地1 代表者: 加藤 隆
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあい事業・こどもの家祭りクリスマス会
実施内容	令和4年度は、新型コロナウイルス対策のため、中止となりました。 市の方針に従い、ふれあい事業費は余剰金(管理費)とした。
実施回数	0 回
参加人数(人)	0 人 (こども : 0 人、大人 : 0 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

- 今年度も新型コロナウイルスにより、ふれあい事業は中止となったが、コロナ対策として来館者には手指消毒、うがい、マスク着用等、来館時に確認したところ、しっかりとできていた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数	小人	大人人数		利用人数合計
	(日)	利用人数(A)	回数	人数(B)	(A) + (B)
合計	287	5,555	299	3,409	8,964

(2) 利用状況に対する自己評価

- 利用団体代表の使用に関して、感染防止対策にしたがって、実施できた。
- 同様に、児童に対しても密を避けるため、遊び方も個人技中心(例: 一輪車・バドミントン・フリスビー等)のもので行った結果、怪我もなく落ち着いて行なうことができた。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項 目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)	岡崎市こども育成課より	405,000
	その他収入(B)	雑収入	
収 入 計 (A + B)			405,000
支 出	直接管理運営費 (c)	人件費、事務費、消耗品費 コロナ対策費・修繕費	402,785
	(うち修繕費)		※ 精 算 項 目 (84,689)
	その他 (D)	当期余剰金等 (次年<令和6年>度繰越金)	2,215
支 出 計 (C+D)			405,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する評価自己

- ・ 施設の修理、事務用品の購入等適切に費用を当て、収支運営をすることができた。
- ・ 本年度は、ふれあい事業が中止となりましたので、子供が使用する遊器具を購入し、他の収支内容を精査することにより、収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する評価自己

- ・ コロナ対策に関する掲示物を見易いところに掲示し、体温測定、手指消毒を行って頂き、安心、安全に館内に案内することができた。
- ・ 施設や機器の利用に関して、わかりやすく記した書面を作成した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する評価

- ・ 蔓延防止適用に当たり、できるだけ団体利用を自粛いただくとともに、手洗い、手指消毒等徹底するように伝えた結果、問題なくコロナ対策に努めることができた。
- ・ 利用者と積極的にコミュニケーションを図り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・ 倉庫内を掃除する際、利用団体と助け合いレクレーション室に出ていた卓球台を倉庫内に収納できた。

よって、レクレーション室が大変広く安全な場所となりました。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市岩津学区こどもの家
施設の設定目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岩津町字東山 18 番地 4
施設規模	敷地面積：1057.77 m ² 建物面積：499.2 m ²
指定管理者	名称：岡崎市岩津学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市岩津町字東山 18 番地 4 代表者：委員長 時々輪 忠正
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (子ども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ対応のため実施なし

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	337	5944	478	3986	9930

(2) 利用状況に対する自己評価

コロナ対応にも定着し、利用者にも浸透しているため、一般来館者が昨年より大変増えた。にぎやかな声が多く大変嬉しく思う。5.3.31
団体利用者にも利用の都度での協力をお願いし定着した。
一般の子供、団体利用にも協力が得られ楽しんで活動してもらった。

3 収支状況
 (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	雑収入	13,676
収入 計 (A + B)			418,676
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	412,138
	(うち修繕費)	※精算項目	155,800
	その他(D)	当期剰余金等	6,538
支出 計 (C + D)			412,138
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

図書室のかばん紙の再利用が好評。新聞も活用。
 また、おもちゃの棚等を購入 費目内で収めることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

来館者へのコロナ対策として、マスク着用、手指消毒等自主的に
 行えるように取り、定着した。そのため安心して施設を利用できている。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

常に利用者のことを考え、ニーズに応えられることは提供できた。
 (例) 長期連休には、アトリエや鬼 ぶん、ショップなどイベントを行い
 児童館を使い、思い切り遊ばせることができた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

団体利用者とは 連絡シートや看板を利用し
 即、対応できるようにしているため コミュニケーションができています。
 運営委員会とも普段から良好な関係のため
 大それたや団体利用者からの依頼もスムーズに対応できている。

令和4年度 事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作南学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市大和町字西島61番地1
施設規模	敷地面積：1316㎡ 建物面積：499.02㎡
指定管理者	名称：岡崎市矢作南学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市大和町字西島61番地1 代表者：委員長 江坂 進
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	ふれあい事業は中止になりました
実施回数	回
参加人数(人)	人(子ども： 人、おとな 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	354	16,125	444	4,675	20,800

(2) 利用状況に対する自己評価

大人の利用については、地域に広く認知されており、本年度も多くの学区住民による利用があった。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

項目		内訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		407,000
	その他収入(B)	雑収入	6,738
収入 計 (A + B)			413,738
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費 コロナ対策費、修繕費	380,440
	(うち修繕費)	※精算項目	112,660
	その他(D)	当期剰余金等	33,298
支出 計 (C + D)			413,738
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

こどもに人気の遊具を聞き取りして購入したり、工夫して自作するなど、多種多様な遊具の整備に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

特別な苦情はなかったが、利用団体との会議や意見箱を設置し利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適切な管理運営を心掛けたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名所	岡崎市六ツ美南部学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市 中島東町3丁目8番地6
施設規模	敷地面積：1362.02㎡ 建築面積：499.8㎡
	名称：岡崎市六ツ美南部学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市中島東町三丁目8番地6 代表者：委員長 鈴木 伸欣
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施事業

実施事業名	七夕飾りを作ろう	
	1.挨拶・説明 2.作業(笹に七夕飾りをつける。 3.大人と子供との混合チームで「ポッチャ」を楽しむ 4.挨拶・終了	
実施回数	1回	
参加人数(人)	83人	(こども：71人、おとな：12人)

(2) 事業実施に対する自己評価

6月中旬頃より一般児童や、育成センターに呼びかけ笹飾りを作って準備を始めた。皆楽しそうに飾りづくりに参加してくれた。当日少人数だが地域の方々にも参加頂いて笹に飾りをつけたり、混合チームでポッチャ楽しむ等世代間交流も含めたふれあい行事とすることができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合 計	341	8,892	505	5,824	14,716

(2) 利用状況に対する自己評価

昨年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に万全を期しての対応となった。今年度も小学校休校等で利用増加のにより密になる事が予想されたが、小学校、保護者、地域住民、運営委員会間の連絡を取り合い適切な対応ができた。

3 収支状況
 (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入 (A)		406,000 //
	その他収入 (B)	前年度繰越金・雑収入	101,944 //
収 入 計 (A + B)			507,944 ✓
支 出	直接管理運営費 (C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	447,413 //
	(うち修繕費)	※清算項目	151,299 //
	その他 (D)	当期余剰金	60,531 //
支 出 計 (C + D)			507,944 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の内外の改善、故障・破損修理・消耗品の購入に費用を充て適切な収支運営することが出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

引き続き新型コロナ感染防止に加えて冬季にはインフルエンザ感染防止対策を徹底。利用者・利用団体と連絡を取り合い使用後の清掃に加え、消毒の環境を整え、掲示物等に対しても注意喚起・協力を求めた。利用者全ての人が安心・安全に使用できる運営に心掛けた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

例年どおり、連絡ノートを利用団体に用意し活用していただき、利用者のニーズの把握に引続き務めた結果、安全対策・使いやすさ等の改善に結び付けることができた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

上記の連絡ノートを通じて記入された意見や申し出等に対し、改善できる範囲において速やかに返答と対応をし、又、運営委員長に報告・連絡・相談を行った。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市北野学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市橋目町字家下3番地1
施設規模	敷地面積：1512㎡ 建物面積：499.75㎡
指定管理者	名称：岡崎市北野学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市橋目町字家下3番地1 代表者：委員長 矢田 光宏
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあい事業
実施内容	コロナ感染予防のため中止
実施回数	回
参加人数(人)	人(こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

()

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	354	13,990	435	4,276	18,266

(2) 利用状況に対する自己評価

かばん下校児童登録22名
夏休み明けから一般児童が増え(30人)センター(2館)と合わせて
80人越えとなるが開館を楽しみにしている姿が見られた。レク室では
バスケットボール、ドッジボール等が人気です。激しくなる事があるので、
注視して見守りました。 3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000
	その他収入(B)	雑収入	2,363
収入 計 (A + B)			408,363
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	408,261
	(うち修繕費)	※精算項目	135,460
	その他(D)	当期剰余金等	102
支出 計 (C + D)			408,363
差 引			- 0

(2) 収支状況に対する自己評価

ふれあい事業中止となり予算の修繕費をトイレ扉、レク室腰窓等壊れている所を改善することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

団体利用者に関係する情報は電話貼紙白板にて連絡掲示した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

レク室での遊戯(玩具)ボールが足りないため(大きさ、硬さ)の違うボールを数個増やしたことでトラブルがなくなり遊戯が発展し社会性が身についた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者ノートで要望に応えられる様に心掛けた。
大雨時レク室扉付近に水が溜ることがあるので倉庫にかうきんを置くようにした。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市根石学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市欠町字石ヶ崎 50 番地
施設規模	敷地面積：1297.98 m ² 建物面積：499.43 m ²
指定管理者	名称：岡崎市根石学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市欠町字石ヶ崎 50 番地 代表者：委員長 高橋 宏美
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	—
実施内容	例年実施している「紙飛行機を作って遊ぼう」をコロナ感染拡大を受けて中止とした。
実施回数	— 回
参加人数 (人)	— 人 (こども：—人、おとな：—人)

(2) 事業実施に対する自己評価

学区内ボランティアによる「紙飛行機を作って飛ばそう」を12月度に計画していたが、新型コロナウイルス禍のため昨年に続き中止。毎年、多くの子供が参加して好評な事業であり、保護者にもこどもの家に関心を持ってもらえる有意義な行事であり、来年度はコロナ禍の状況を考慮して実施するか否かを判断したい。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合 計	334	4,632	450	5,021	9,653

(2) 利用状況に対する自己評価

かばん下校を通じて小学校との連携が密になり、安全なこどもの遊び場として多くの児童が来館した。また、大人の利用については地域に広く認知されており、本年度も多くの学区民に利用があり、新型コロナウイルス感染拡大前のレベルに回復したが、引き続き感染防止策を徹底しながら利用継続できるようにしたい。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		404,000
	その他収入(B)	雑収入	68,745
収入 計 (A + B)			472,745
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	405,596
	(うち修繕費)	※精算項目	87,533
	その他(D)	当期剰余金等	67,149
支出 計 (C + D)			472,745
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品および新型コロナウイルス感染防止対策品(消毒液、マスク、手袋等)の購入等に適切かつ有効に費用を充て、終始運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ちよく利用できるよう使用後の適宜な清掃、特に今年度は新型コロナ禍に対する消毒等への協力を呼び掛け、清潔・安全な環境作りに努めた。
施設利用に関して分かり易く記載した書面を作成し、利用団体代表者に説明すると共に配布して利用者全員に周知した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

子供に人気の遊具を聞き取りして購入する等して、なるべく要望に応えるよう努めた。
今年度は新型コロナ禍のため、感染予防を万全にした上で利用団体との会議を開催してニーズ、要望把握に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員と連携してマナー、ルールから逸脱した利用をしないよう書面および対面、電話等で伝達を行い理解して頂いた。特に、今年度は主に新型コロナ禍に伴う利用制限、利用時の注意事項などの伝達・対応依頼を行った。
利用制限等に対して利用団体は協力的であり、その他利用する上でも特別な苦情はなかったが、今後も会議や書面配布によりコミュニケーションを密にして苦情のない管理運営を心掛けたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市緑丘学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市美合町字下長根 28 番地
施設規模	敷地面積：2091 m ² 建物面積：499.01 m ²
指定管理者	名称：岡崎市緑丘学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市美合町字下長根 28 番地 代表者：委員長 三井 巻雄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	こどもの家ふれあいデー
実施内容	新型コロナウイルス感染症防止対策として自粛
実施回数	0 回
参加人数 (人)	0 人 (こども： 0 人、おとな： 0 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

次年度は実施したい。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合計	357	14,529	608	6,463	20,992

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで多くの児童が来館した。
- ・大人の利用も、地域に広く認知されており、コロナ過でも多くの5,3,31学区住民の利用があった。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000 ✓
	その他収入(B)	雑収入	11,630 ✓
収入 計 (A + B)			417,630 ✓
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	400,235 ✓
	(うち修繕費)	※精算項目	90,564 -
	その他(D)	当期剰余金等	17,395 ✓
支出 計 (C + D)			417,630 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て
収支運営することが出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・利用者が気持ちよく利用できるよう、使用後の清掃の呼びかけ及び
年2回の定期清掃を実施し、清潔な環境作りに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・ことにも人気の遊具等を指導員を介し取り取りして購入した。
・利用者会議を南携し、ニーズ把握に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・利用者ノートの意見等には、指導員と連携し、速やかに対応に努めた。
・特別な苦情はなかったが会議や利用者ノートを利用し、
今後も苦情のないよう管理運営に努める。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市愛宕学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市伊賀町字地藏ケ入 34 番地 1
施設規模	敷地面積：1566.71 m ² 建物面積：499.67 m ²
指定管理者	名称：岡崎市愛宕学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市伊賀町字地藏ケ入 34 番地 1 代表者：委員長 鍋田 紘一郎
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	こどもの家まつり (コロナ感染防止のため、不実施)
実施内容	
実施回数	回
参加人数 (人)	人 (子ども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

今年度も子供達が楽しみにしている「こどもの家まつり」が、コロナ感染防止のため実施できず残念であった。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合計	340	3,979	233	2,056	6,035

(2) 利用状況に対する自己評価

今年度は、コロナ緊急事態宣言も徐々に収まり、利用団体の利用者がコロナ前に戻り増加した。小人利用も昨年度より増加してきたが、安心せず、精進など徹底し、地域の皆さんが、安全に利用できるように心掛けた。
玄関ボードに各月の予定表を掲示して、利用者の方々に状況が常に分かるようにしている。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		403,000
	その他収入(B)	雑収入	8,318
収入 計 (A + B)			411,318
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	387,620
	(うち修繕費)	※精算項目	86,000
	その他(D)	当期剰余金等	23,698
支出 計 (C + D)			411,318
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

レク室の腰窓(引戸)が長年に亘り破損の箇所が増え、テープは補修しきれず
運営委員会と相談をし、全ての腰窓を修繕した。張り替えたが、綺麗に直ったこと
よ、レク室内が明るくなり、大切な使い方をしようと思気持ちになれると感じた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

今年度もコロナの感染を防ぐため、より安全に利用して頂けるよう来館時の検温、消毒の
徹底を心がけた。また使用後の遊具の消毒、館内の消毒点検にも、しっかりと努めた。
利用団体への連絡も迅速に行ない、安全安心な施設の利用がして頂けたと思う。
倉庫内の整理、整頓をし、用具など使いやすくなった。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用団体とは、連絡ノートで意見交換をし、器具、ボール空気入れ等に不具合、破損が
有った際には、運営委員会と連携し、速やかに対処するよう努めた。
子供達には、楽しく遊べる玩具、遊具(一輪車など)を購入した。
また、各学年で好まれる本を選定し、購入し、図書も充実も図った。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

今年度も苦情は無かったが、土曜、日曜の利用時の駐車場での騒音など
地域住民の方々に迷惑がからないうよう、利用団体にも協力して頂き気をつけている。
子供たちの送迎の時などに、道路、隣の民間の駐車場に車を停めないよう
ご父兄の方々にお願い、説明をし改善した。
館外の溝の柵や草やゴミなど清掃し、枯葉が貯まらないう気をつけてきた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐東学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市米河内町字登り42番地2
施設規模	敷地面積：1788.48㎡ 建物面積：499.81㎡
指定管理者	名称：岡崎市常磐東学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市米河内町字登り42番地2 代表者：委員長 中根 昭寿
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	3Dアートに挑戦しよう!
実施内容	コロナの為中止
実施回数	回
参加人数(人)	人(こども: 人、おとな: 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	346	5317 5076	286	1659	6476 6976

(2) 利用状況に対する自己評価

安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで本年度も多くの児童が来館した。 3.31

3 収支状況
 (1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		403,000 ✓
	その他収入(B)	雑収入	7,135 ✓
収入 計 (A + B)			410,135 ✓
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	410,135 ✓
	(うち修繕費)	※精算項目	106,594 ✓
	その他(D)	当期剰余金等	0
支出 計 (C + D)			410,135 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営
 することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃
 への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

子どもに人気の遊具を聞きとり購入したり、工夫して自作
 したりするなど、多種多様な遊具の整備に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

特別な苦情はなかったが、利用者とのコミュニケーションを
 密にして、今後も苦情がないよう適正な管理運営を
 心掛けた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市滝町入ノ谷3-10
施設規模	敷地面積：1125.14㎡ 建物面積：499.9㎡
指定管理者	名称：岡崎市常磐学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市滝町入ノ谷3-10 代表者：委員代表 中根 茂
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	こどもの家お楽しみ会、子ども会お楽しみ会
実施内容	新型コロナウイルスの感染防止のため当初の計画は中止した
実施回数	計 回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

新型コロナウイルスの感染防止のため中止した

2 施設の利用状況

(1) 利用状況(4月～3月)

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	327	6351	477	3945	10296

(2) 利用状況に対する自己評価

新型コロナウイルスの感染防止のため利用者は令和3年度並みで推移。子どもたちは下校後、遊具を使ったり、子ども同士でボール遊びをしたりしてのびのびと活動することができた。また大人の利用団体者も規則を守り、特に事故もなく有意義に利用することができた。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入		404,000
	その他収入	繰越金	4,978
収入 計			408,978
支 出	直接管理運営費	人件費、事務費、消耗品費、 修繕費	362,377
	(うち修繕費)	※精算項目	86,550
	その他	当期剰余金等	46,601
支出 計			408,978
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

新型コロナウイルスの感染防止には十分に留意し利用者の立場に立って、それぞれの要望に対応することができた。

収支も間違いなく適切に処理することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用団体代表者会議は新型コロナウイルスの感染防止に配慮しつつ、新旧委員長の出席のもとで、利用規則確認・連絡お願い事項の周知徹底をすることができた。

連絡ノートは常置しており、利用者が気付いたことは記入するようにしているので素早い対応ができた。相互理解のため今後とも継続していきたい。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者の要望内容は随時現物確認を行い、速やかに対応回答することができた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

連絡ノートを設置し、常に問題点を把握するように心がけ、問題があれば利用者に素早く情報を提供することができた。

※修繕費の精算項目

①卓球台修理	13000
②一輪車修理	3960
③小便器修理	7590
④トイレ扉・ポスト修理	62000
	86550

※（事業報告書と併せてご提出をお願いします）

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市細川学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市細川町字長原111番地1
施設規模	敷地面積：1434.2㎡ 建物面積：499.58㎡
指定管理者	名称：岡崎市細川学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市細川町字長原111番地1 代表者：委員長 近藤 勝男
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	うちわをつくろう
実施内容	うちわに折り紙をはったり、すきな絵を描いて、オリジナルのうちわを作った。帰りに参加賞を渡した。
実施回数	1回
参加人数(人)	125人(子ども：112人、大人：13人)

(2) 事業実施に対する自己評価

新型コロナウイルスのため中止になっていたが、久しぶりに開催することができ楽しくできた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	294	16,237	461	4,151	20,388

(2) 利用状況に対する自己評価

本年度もコロナ禍だったが大人の利用が増えた
規制が緩和されるが、今後も手指消毒、蜜にならないように子供達を見守っていきます

5,337

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000
	その他収入 (B)	雑収入	73,881
収入 計 (A+B)			479,881
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 ふれあい事業費、修繕費	402,627
	(うち修繕費)	※精算項目	83,450
	その他 (D)	当期剰余金等	77,254
支出 計 (C+D)			479,881
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品購入等に適切に費用を充て収支運営することが出来た。
来年度は、本棚の買い替えを検討しているので予算を繰り越した

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

施設利用に関してわかりやすく書面にし、理解をお願いした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

こどもの遊びを見て、必要とする遊具を購入し、学年を選ばずに遊ぶことが出来るようなものを選んだ。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

特別な苦情はなかったが、伝言メモにより利用者とのコミュニケーションを
蜜にして今後も苦情のないよう適正な管理運営を心がけたい

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市小豆坂学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市戸崎町字藤挾 13 番地 41
施設規模	敷地面積：1044 m ² 建物面積：499.21 m ²
指定管理者	名称：岡崎市小豆坂学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市戸崎町字藤挾 13 番地 41 代表者：委員長 平位 壽雄
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数 (人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

本年度も新型コロナウイルスの感染・拡大によりふれあい事業は実施できませんでした。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合計	360	11,908	620	5,728	17,636

(2) 利用状況に対する自己評価

・安心・安全な遊び場として、指導員が遊具の配置や児童の利用の仕方に配慮したことで、本年度も多くの児童が来館した。
・大人の利用については、地域に広く認知されており、本年度も 5,331 多くの学区住民による利用があった。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000
	その他収入(B)	雑収入	11,230
収入 計 (A + B)			417,230
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	403,587
	(うち修繕費)	※精算項目	102,688
	その他(D)	当期剰余金等	13,643
支出 計 (C + D)			417,230
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て
収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

新型コロナウイルスの感染拡大に向け、施設の遊具、トイレ
など消毒を徹底することで、安心安全な居場所として
児童の利用に対応できた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・こどもに大人気のシリーズ本などを購入するなど、遊具の
充実、整備に努めた。
・利用団体に向け、連絡帳を作り、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・指導員と連携し、利用者ノートに記入された意見には
改善できる範囲において、速やかに対応した。
・利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も適正な
管理運営を心掛けていきたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市美合学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市岡町字上御給 49 番地
施設規模	敷地面積：1000 m ² 建物面積：499.96 m ²
指定管理者	名称：岡崎市美合学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市岡町字上御給 49 番地 代表者：委員長 平岩 満敏
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ禍で中止

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	288	7571	312	2445	10016

(2) 利用状況に対する自己評価

令和2年度より続くコロナ禍の影響により、今年度も予防のため引き続き感染拡大予防に注意した。利用者も自粛を続ける児童が多く、一般児童の利用は少く、育成センター児童の利用がほとんどとなった。団体利用者についてはコロナ前の状態に戻っています。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	雑収入	87,687
収入 計 (A + B)			492,687
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	482,544
	(うち修繕費)	※精算項目	158,710
	その他(D)	当期剰余金等	10,143
支出 計 (C + D)			492,687
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

昨年と引き続き、コロナ対策として、消毒液を購入して、床、おもちゃ、手指消毒等、感染予防に務めてきた。本年度も引き続き消毒を徹底していきたいと考えている。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

コロナ禍もようやく明るい兆しが見えて来たこともあり、利用団体については感染予防への協力をもらいながらコロナ前と同様の利用となり、更に新しく2団体の加入も受けている。利用団体とは新しく連絡ノートを作る事で意思の疎通を計る事が出来た。一般児童の利用は大きく増加するとはなかったが、久しぶりに顔を見せた児童には常に利用しているセンター児童の中にとけ込

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

コロナ禍の中でより安心安全に利用が出来るよう、おもちゃ等の整理を進め、雑然とした子どもの家にならないよう気を配った。子ども達が楽しく過ごせるよう、作品を制作する時間を設け、利用者の要望に耳を傾け、指導者の中で話し合い、要望に応えるよう努力した。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・駐主車場の利用について、今年度も市民ホーム利用者より苦情が度々あり、何度説明しても判ってもらえず困ったので、運営委員長、市民ホーム管理者、地域総代に協力いただき、お叱りのようにあまいにすることなく、苦情の出来ない取り決めのして頂いた。
・子どもの家前の路上に業者が車を一時駐車をし、近隣より苦情が入ったことがあった。常日頃注意をしていたが、少しのことにも早めに気付き注意を促すべきだったと思ったことが一度あった。育成課にフェンスに注意書の貼り紙をして頂いた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市羽根学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市羽根町字池下5番地1
施設規模	敷地面積：1148㎡ 建物面積：499.78㎡
指定管理者	名称：岡崎市羽根学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市羽根町字池下5番地1 代表者：委員長 河合 順一郎
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあいまつり
実施内容	釣当ゲーム 缶釣ゲーム 輪投げ、その他
実施回数	1回
参加人数(人)	500人 (こども:300人、おとな:200人) ^{幼75} ₅₇₃

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナの流行に配慮し感染防止に努めて実施した
数年ぶりの実施だったことで大いに楽しむ事が出来た

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	1	300	1	200	幼児75人 573人

(2) 利用状況に対する自己評価

コロナの流行中だったが利用者はコロナ発生以前に
産りつつあるように見受けられた

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		407,000
	その他収入(B)	雑収入	2,626
収入 計 (A + B)			409,626
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	400,923
	(うち修繕費)	※精算項目	118,529
	その他(D)	当期剰余金等	8,703
支出 計 (C + D)			409,626
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

限られた予算の中ではあったが、大人、子供共
楽しみながら実施できた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

順調に運営出来た。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

特に要望も少なく楽しんでもらえた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

特に苦情はあまなかった。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市藤川学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市藤川町字一里山北54番地
施設規模	敷地面積: 1269.12㎡ 建物面積: 499.7㎡
指定管理者	名称: 岡崎市藤川学区こどもの家運営委員会 所在地: 岡崎市藤川町字一里山北54番地 代表者: 委員長 榊原 裕
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	手づくり ワークショップ
実施内容	①手づくり工作 割ばし鉄砲、バルーンアート、折り紙細工、万華鏡他づくり ②子ども向け防災講習 水消火器の訓練、防火服着用、消防車乗用体験
実施回数	1 回
参加人数(人)	110 人 (こども: 66 人、おとな: 44 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

子供と大人のふれあいを通じて、世代を超えた地域の繋がりを生むきっかけとなった。
学区こどもの家に対する関心を高めると共に、地域の人々への理解を深めることができた。

2施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合 計	308	7,836	292	2,173	10,009

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで本年度も多くの児童が来館した。
- ・大人の利用については、地域に広く認知されており、本年度も多くの学区住民による利用があった。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	令和3年度繰越金	14,872
収入 計 (A+B)			419,872
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	410,094
	(うち修繕費)	※精算項目	88,350
	その他(D)	当期剰余金	9,778
支出 計 (C+D)			419,872
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

本年度は修繕費を超過したが、他の支出内容を精査することにより収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者みんなが気持ちよく利用できるよう、使用後の適宜な清掃への協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・子ども達に聞き取りをして、必要な遊具の整備に努め、利用者に気持ち良く施設を利用してもらうことができた。
- ・利用者団体との会議を開催して、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

特別な苦情はなかったが、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう適正な管理運営を心掛けた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市常磐南学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市田口町字岩本1番地1
施設規模	敷地面積：1390.73㎡ 建物面積：499.8㎡
指定管理者	名称：岡崎市常磐南学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市田口町字岩本1番地1 代表者：委員長 中嶋 源一朗
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあいレクリエーション大会
実施内容	チーム(3チーム)に分けゲーム(玉入れ、ぞうきんがけリレー、ボール運びリレー)ゲーム別で得点を競い、あい身体を動かしてゲームを楽しんだ
実施回数	1回
参加人数(人)	88人(子ども:68人、おとな:20人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナ禍の為、久しぶりのふれあいであった。ふれあいを実施するかの判断が難しく、時期的に忙しい3月だったので、準備が大変であった。コロナの為、大勢が集ってゲーム等をする機会が少なかった為、子供達は楽しんでいったと思う。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	351	3826	329	2535	6361

(2) 利用状況に対する自己評価

昨年もコロナの中であったが、平日はほぼおぼん下校の利用の児童が少なくて、長い時間利用する子供も多く学年が違っても仲良く遊んでいる。お米子だけ子供達が自由に安全に遊べるよう努めてきたと思う。コロナ禍の時代、どうして制限をせざるを得ない時もあるか、学校運営委員会、地域の方々に協力を頂きたい。対応お米子にしよう。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		404,000 -
	その他収入(B)	雑収入	29,216 -
収入 計 (A + B)			433,216 ✓
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 自己対策費 、修繕費 ふいあい	422,716 -
	(うち修繕費)	※精算項目	89,749 ✓
	その他(D)	当期剰余金等	10,500 ✓
支出 計 (C + D)			433,216 ✓
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理 消耗品の購入等適切に費用を充て
収支見当を有する事ができた

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が利用しにくいと思う様な事は少ない。施設の管理備品消耗品を
充実させた。利用者が気持ちよく利用出来るよう 利用者全体に利用の仕方
清掃・消毒等を呼びかけ 周知徹底した

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

コロナ禍の中心 子供達や利用者への事に身を傾け出来るだけ楽しく
遊べるよう、又利用出来るよう 整備、管理に努めた

(3) 苦情対応等に対する自己評価


かぼれ下校の子供同士のけんか等があり、保護者、学校も交えて
話し合い 出来る限り 子供達から目を離さずいよう 見守った

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市奥殿学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市奥殿町字石飛 111 番地
施設規模	敷地面積：1214.24 m ² 建物面積：499.8 m ²
指定管理者	名称：岡崎市奥殿学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市奥殿町字石飛 111 番地 代表者：委員長 山口 和則
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数 (人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価



2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合 計	339	6,653	276	1,098	7,751

(2) 利用状況に対する自己評価

平日は 20名程の低学年が、かぼん下校し、4年生以上の高学年は
数名と少なく、レクレーション室で、のびのびと遊ぶ児童に目が
届きやすく、安全、安心に見守ることができまふ。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		403,000
	その他収入(B)	雑収入	4.168
収入 計 (A + B)			407.168
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	399.086
	(うち修繕費)	※精算項目	117,574 100.300
	その他(D)	当期剰余金等	8.082
支出 計 (C + D)			407.168
差 引			0.

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、パソコンの交換購入をしたため、修繕費が超過したが他の支出内容を精査することにより、収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

かぼん下校利用の案内、お知らせを掲示して、保護者さんへの丁寧な説明を心掛け、常日頃、整理整頓に心掛け、利用しやすい状況づくりをしています。


(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

児童が興味を示す、おもちゃ、書籍の購入や、楽しく安全に遊ぶあきのこないよう、工夫を提案するなどしています。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者からの苦情は特にありませんが、利用団体と会い機会がほとんどないため、変更、お伝えすることなどはノートで連絡するなどして、コミュニケーションをとるようにしています。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市大門学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市藪田二丁目8番地7
施設規模	敷地面積：1132㎡ 建物面積：499,65㎡
指定管理者	名称：岡崎市大門学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市藪田二丁目8番地7 代表者：委員長 神尾 明幸 
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	こどもの家 ふれあいフェスタ
実施内容	コロナウイルス感染症予防の為、本年度は中止
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

コロナウイルス感染症予防の為、全事業はできませんが、施設利用の緩和で一般利用が出来よかったです。と思います、利用者もほぼ満足している。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	356	20,978	379	6,553	27,531

(2) 利用状況に対する自己評価

コロナウイルス感染者数に波はあっても、センター、一般児童とも変わらずマスクをして元気に遊んでいた。
また一般団体は、昨年と比べると利用回数が増えて来ました。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		408,000
	その他収入(B)	雑収入	136,775
収入 計 (A + B)			544,775
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	377,935
	(うち修繕費)	※精算項目	77,944
	その他(D)	当期剰余金等	166,840
支出 計 (C + D)			544,775
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

予定していた、子どもを中心の行事が出来ず予算経常しましたが、コロナウイルス感染予防で出来ず、来期繰り越し子どもの為に使いたい。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

こどもの家の指導員の先生のおかげで、順調な運営が出来ました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

利用者の要望も聞き入れ運営を致しました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

利用者苦情もなく運営ができました。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市矢作東学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市矢作町字切戸20番地1
施設規模	敷地面積:1239.09㎡ 建物面積:499.26㎡
指定管理者	名称:岡崎市矢作東学区こどもの家運営委員会 所在地:岡崎市矢作町字切戸20番地1 代表者:委員長 三浦 徳雄
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1)実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども: 人、おとな: 人)

(2)事業実施に対する自己評価

[]

2 施設の利用状況

(1)利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	349	9,898	424	3,824	13,722

(2)利用状況に対する自己評価

[安全なこどもの遊び場として、現場の指導員や小学校と連携を密にしたことで、本年度も多くの児童が来館した。
大人の利用については、地域に広く認知されているが、
夜間の利用時間を変更したため、利用時間を短くする団体が生じた。]

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額(円)
収 入	指定管理料収入(A)		¥404,000
	その他収入(B)	雑収入	0
収入 計 (A+B)			¥404,000
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	¥404,000
	(うち修繕費)	* 精算項目	¥141,638
	その他(D)	当期剰余金等	0
支出 計 (C+D)			¥404,000
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支運営することができた。
本年度は修繕費の予算額を超えてしまったが、他の収支内容を精査することにより、収支の均衡を図ることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

新型コロナウイルス感染防止の対策として、利用中の換気、休憩中のマスク着用、使用後の用具の除菌などを呼びかけた。
施設利用に関して、機会を作り わかりやすく説明をした。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

こどもに人気の遊具を聞き取りして購入したり、工夫して自作したりするなど多種多様な遊具の整備に努めた。
利用団体との連絡はノートを活用し、ニーズ把握を心掛けた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

連絡ノートを活用し、利用団体から出された意見は改善できる範囲において速やかに対応した。
連絡ノートにより、利用者とのコミュニケーションを密にして、今後も苦情のないよう厳正な管理運営を心掛けたい。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市福岡学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市福岡町字深田19番地1
施設規模	敷地面積：1612.3㎡ 建物面積：449.1㎡
指定管理者	名称：岡崎市福岡学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市福岡町字深田19番地1 代表者：委員長 大河内 廣之
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあいまつり
実施内容	コロナ禍のため開催 中止
実施回数	回
参加人数(人)	人 (子ども： 人、おとな： 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・コロナ禍のため昨年に引き続き中止せざるを得なかったのは非常に残念なことでした。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A)+(B)
			回数	人数(B)	
合計	351	8,966	318	2,580	11,546

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・コロナ禍ではあったが利用制限が緩和され、子どもたちは指導員の細やかな心遣いに居心地の良さを感じて利用した。(イベント毎に玄関をディスプレイした。)

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	雑収入	34,645
収入 計 (A + B)			439,645
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	421,551
	(うち修繕費)	※精算項目	89,482
	その他(D)	当期剰余金等	18,094
支出 計 (C + D)			439,645
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- 施設の修繕・修理等、消耗品の購入等に適切に費用を充当して収支運営をすることができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- 施設周りの樹木の剪定や草取り、除草剤の散布、建屋廻りの犬走り（コンクリートの亀裂）の補修を行い環境の整備をおこなった。
- 年末の大掃除を利用団体及び運営委員の所属団体より多数の参加を得て実施した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- 利用団体の中には子供の成長に伴い、施設利用を止める団体もいる中で新規の利用団体の登録もあり学区内にこどもの家の存在を知らずことが出来た。
- 施設の利用がない時には近隣住民が必要な時に臨時駐車場として貸し出した。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- カバン下校の子ども親（外国人）への対応に苦慮することがあったが大きな苦情もなく運営できた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市大樹寺学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市井ノ口町字片坂13番地
施設規模	敷地面積：1555.72㎡ 建物面積：499.78㎡
指定管理者	名称：岡崎市大樹寺学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市井ノ口町字片坂13番地 代表者：委員長 内藤 博彦
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	大樹寺っ子会ふれあい祭り
実施内容	(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
実施回数	回
参加人数(人)	人 (こども：人、おとな：人)

(2) 事業実施に対する自己評価

- ・次年度(令和5年度)にて、第5類としてのガイドラインを守り実施していく。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数 (日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	294	3,434	539	5,887	9,321

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・4年度にて新たに4団体が加入し、ほぼ空きが無い状況となった。

5,331

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		405,000
	その他収入(B)	雑収入	7,641
収入 計 (A + B)			412,641
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	405,297
	(うち修繕費)	※精算項目	79,750
	その他(D)	当期剰余金等	7,344
支出 計 (C + D)			412,641
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・ふれあい事業費を感染対策費に振替えて、新型コロナウイルス感染防止の活動をしっかり実施できた。
- ・事務室、図書室の施錠方法を変更しセキュリティ強化を図った

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用者が気持ちよく利用できるように明るく笑顔で接することを心掛けた。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策（施設利用規制、手消毒、マスク、過密防止等）を強化した運営ができた。
- ・清潔な環境を維持のため、年2回の草取り等を含む定期的大掃除ができた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・利用者たちと接する日常の活動の中で利用者のニーズの把握に心掛けた。
- ・旧洋式トイレを暖房便座に入れ替え実施

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・安全や安心に関する苦情には指導員や運営委員が連携し、早期対応を心掛けた。
- ・特に、気持ちよく利用することを妨げる行為について、利用者会議にて徹底の申し入れを実施。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市秦梨学区こどもの家
施設の設定目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市秦梨町字世土田 20 番地 1
施設規模	敷地面積：2056.94 m ² 建物面積：499.95 m ²
指定管理者	名称：岡崎市秦梨学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市秦梨町字世土田 20 番地 1 代表者：委員長 天野 博之
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	大掃除とドックビーの会
実施内容	1. 学年別に運営委員長のお話 2. 大掃除 レッ室、図書室、ホール(児童) 敷地内草刈り(運営委員) 3. ドックビー 学年別 4. 閉会式 学年別 参加児童にお菓子、飲み物配布
実施回数	回
参加人数(人)	53 人 (こども：42 人、おとな：11 人)

(2) 事業実施に対する自己評価

本年度も昨年と同様、新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと取り、年に一度のふれあい事業として実施することができた。日頃利用している施設の掃除をして、ドックビーを楽しむことで、学区こどもの家に対する関心を高め、親しんでもらうことができた。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合計	247	1958	41	350	2308

(2) 利用状況に対する自己評価

・本年度は、新型コロナウイルスへの対策が具体的に判明してきたことを踏まえ、むやみに恐れることなく感染対策をしっかりと取り、安心して利用できるよう努めたことで、多くの児童が来館した。
・大人の利用については、利用登録団体が減っていた中、新たに親子で参加の利用登録団体が増えたことで、多くの学区住民に利用してもらうことができた。

5.3.31

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		402,000
	その他収入(B)	雑収入 前年度繰越金	7500
収入 計 (A + B)			409500
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費、ふれあい事業費	401000
	(うち修繕費)	※精算項目	(83732)
	その他(D)	当期剰余金等	8500
支出 計 (C + D)			409500
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

・本年度は、修繕費がほぼ予算通りにおさまり、利用児童のための遊具、図書等も充実でき、施設の設備、消耗品の購入等に適切に費用を充て、収支運営することができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

・本年度も新型コロナウイルスの感染予防対策のため、日々施設内の備品、遊具、道具類などの消毒をしっかり行い館内の清潔な環境づくりに努めた。
・日没後に玄関前、階段が暗いという問題があり、センサーライトを設置したことにより、安心して戸締り、階段の昇り降りができるようになった。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

・放課後行事としての工作用材料に予算を充て、いろいろ工夫して楽しい作品作りができた。
・少人数になった時に退屈しないための物品を具購入したり、工夫したりして多種多様な遊具の整備に努めた。
・利用登録団体からの要望に応え、器具、用具の手配整備を行い、利用登録団体が利用しやすい環境を整えることができた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

・これも同様のトラブルはほとんどなく、何か変わった事があった時は、対応した指導員がその都度保護者に連絡するよう努め、特別な苦情もなく過ごすことができた。
・かばん下校児童の中で気になる児童については、学校や保護者と連絡を取り、状況報告を行い、時にはアドバイスをもらい適切に対応することができた。
・利用登録団体の利用に関して、登録から利用までのルールを運営委員長、指導員、利用登録団体代表者の全員が周知徹底したことでトラブルもなく適正に管理運営することができた。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市三島学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市明大寺町字仲ケ入12番地
施設規模	敷地面積：2446.4㎡ 建物面積：499.13㎡
指定管理者	名称：岡崎市三島学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市明大寺町字仲ケ入12番地 代表者：委員長 野村 政弘
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	ふれあい事業「こどもの家でいっしょに楽しもう」
実施内容	新型コロナウイルス感染防止のため 中止
実施回数	
参加人数(人)	

(2) 事業実施に対する自己評価

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数(日)	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数(B)	
合 計	291	13,658	310	2,946	16,604

(2) 利用状況に対する自己評価

- ・常に子どもの安全な遊び場として、遊具の点検、館内の清掃に心掛けており、コロナが収まりつつある中、カバン下校児童の利用は年々増えている。
- ・大人の利用についても昨年度より1,000人以上増えている。

5.3.17

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		406,000
	その他収入(B)	社教 前年度繰り越し	1,552
収入 計 (A + B)			407,552
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、管理費、 ふれあい事業費、修繕費	403,205
	(うち修繕費)	※精算項目	119,438
	その他 (D)	当期剰余金	4,347
支出 計 (C + D)			407,552
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・事務室の机を1台購入、1人1台の机で事務処理がスムーズになった。プリンターも導入し、迅速なコピーとFAX送信時間が短縮でき、子どもの見守り等にかかる時間を増やすことができた。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・利用後の清掃、特にトイレ清掃は徹底して行い、年末の大掃除など協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・トイレのドアクローザー、タイル破損、レク室扉ストッパー等の不具合があった場合すぐに対応した。
- ・コロナ感染対策として消毒、換気、三密を避ける声かけを励行している。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・至急の用件については架電にて、その他については連絡ノートを活用し、改善に努めた。。

令和4年度事業報告書

公の施設名称	岡崎市恵田学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市恵田町字三月ケ入 71 番地 1
施設規模	敷地面積：885.35 m ² 建物面積：499.75 m ²
指定管理者	名称：岡崎市恵田学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市恵田町字三月ケ入 71 番地 1 代表者：委員長 岡田 益夫
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	今年度ふゆあいの事業を予定して実施（イオン）
実施内容	
実施回数	回
参加人数（人）	人（子ども： 人、おとな： 人）

(2) 事業実施に対する自己評価

()

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

	利用日数（日）	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合 計	241	2,560	34	326	2,886

(2) 利用状況に対する自己評価

今年度もイオンお祭り場と対策により利用人数減とありましたが、現場の指導員の方や小教職員との連携で子供達の安全な遊び場として危険箇所まで日常注視し児童の安全が確保出来ました。大人の利用も昨年同様、イオンの影響で減少し、教員等の理解が得られました。

3 収支状況

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収 入	指定管理料収入(A)		402,000
	その他収入(B)	雑収入	10171
収入 計 (A + B)			412,171
支 出	直接管理運営費(C)	人件費、事務費、消耗品費、 コロナ対策費、修繕費	360,206
	(うち修繕費)	※精算項目	86,130
	その他(D)	当期剰余金等	5,965
支出 計 (C + D)			412,171
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

施設の修理、消耗品の購入等に適切に費用を充て収支過多がなかった。
 予算優先で急を要する施設の修繕が実現し、他の支出精算に利
 収支の均衡を同じくすることが出来た。

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

利用者が気持ち良く利用出来るよう使用後の適宜な清掃への
 協力を呼びかけ、清潔な環境づくりに努めた。
 施設利用に関してわかりやすく記述事項を作成した。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

サービスの利用ニーズの把握を心掛け意見を聴いて、利用者意見の
 施設サービスの改善に努めた。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

指導員と連携して利用者への記入された意見に対し
 改善できる範囲で速やかに対応した。
 利用団体へのお礼状と対策の協力依頼及び利用サービス連携か
 らいなくコミュニケーションを図り、今後も苦情のない気持ちよく利用
 出来る様に適正な管理運営に努めようとする心掛けたい。

令和 4 年度事業報告書

公の施設名	岡崎市六ツ美西部学区こどもの家
施設の設置目的、役割	学区内におけるこどもの健全育成と、学区住民の健康づくりを目的とする。
施設の所在地	岡崎市赤浜町字道本 2 1 番地 1
施設規模	敷地面積：2108㎡ 建物面積：499.5㎡
指定管理者	名称：岡崎市六ツ美西部学区こどもの家運営委員会 所在地：岡崎市赤浜町字道本 2 1 番地 1 代表者：委員長 犬塚 哲也
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 3 1 日

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

実施事業名	
実施内容	
実施回数	
参加人数 (人)	

(2) 事業実施に対する自己評価

【 コロナ感染予防対策により、今年度もふれあい事業を中止しました。
利用児童には、工作 (少人数) などで、月ごとに色々な作品作りの指導
を行った。 】

2 施設の利用状況

(1) 利用状況 4 月～3 月末まで

	利用日数	小 人 利用人数 (A)	大人利用		利用人数 合 計 (A) + (B)
			回数	人数 (B)	
合 計	350	21,243	537	4,419	25,662

(2) 利用状況に対する自己評価

【 新型コロナウイルス感染症が、小学生にも流行した為、消毒を徹底し
マスク着用、手洗いの強化を指導しました。
利用団体が増えたので、事務長と頻繁に連絡を取り合い、業務効率に
努めました。 】

5.3.31

3 収支状況

42

(1) 収支状況

	項目	内 訳	決算額 (円)
収入	指定管理料収入 (A)		408,000
	その他の収入 (B)	雑収入 前年度より繰越金・積立金	46,665
収入 計 (A+B)			454,665
支出	直接管理運営費 (C)	人件費, 事務費, 消耗品費, コロナ対策費, 修繕費	439,516
	(うち修繕費)	※精算項目	117,828
	その他 (D)	当期余剰金等 次年度繰越金	15,149
支出 計 (C+D)			454,665
差 引			0

(2) 収支状況に対する自己評価

- ・コロナ対策費を有効活用した
- ・修繕費の予算8万円以上により返納金0円
- ・積み立て金 平成29年～令和4年間 合計6万円

4 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

- ・夏休み中、昼食を食べる児童が例年以上に多く、市民ホームの和室を借りました。熱中症対策やコロナ感染予防対策にも繋がりました。
- ・利用団体が4団体増えた為、事務長と頻繁に連絡を取り合い、クレームやルールの徹底など、即座に対応しました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

- ・六ツ美西部学区福祉委員会より車椅子の寄贈がありました。直ぐに玄関と倉庫に掲示して、利用団体にわかるようにしました。
- ・放課後こども教室 ボランティアとして、こども達が楽しめる季節の工作・行事等を行い、こども達から好評を得ることが出来ました。
- ・来館数が多いので、図書室のスペースを広くしました。(本棚買い替え・整理) マンガを増やしたので、こども達に好評でした。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

- ・利用団体の要望が、利用団体ノートに書かれていたら、直ぐに対応しました。
- ・育成センターが2館のため、センター支援員と報告・連絡・相談に努めました。
- ・センターとこどもの家との出入口にクッションを挿み、ドアによる指を挟む防止対策をしました。